

令和6年度 事前評価書要旨

対象事業名	県央広域工業用水道第2期事業									
1. 事業の目的										
<p>霞ヶ浦導水事業に水源を求める県央広域工業用水道第2期事業の給水区域には、既に那珂川工業用水道及び県央広域工業用水道により工業用水が給水されているが、当該地域においては、新たな工業用水の需要が見込まれていている。また、当該地域に対応すべく新たな工業用水道及びその水源の確保を行う必要がある。</p> <p>このため、茨城県は、当該給水地域に 59,400m³/日の工業用水を供給すべく県央広域工業用水道第2期事業を計画することとしており、本事業は、その水源 0.739m³/秒を確保するため、国土交通省が施工する霞ヶ浦導水に昭和60年度から共同事業者として参画する形で実施しているものである。</p>										
2. 事業の必要性										
<p>県央広域工業用水道第2期事業の給水区域は、茨城県中央部に位置するひたちなか市の常陸那珂工業団地である。当該地域は、茨城県茨城港常陸那珂自然環境に恵まれた立地条件であり、新たな工業拠点の形成を目指すことを目標として造成された工業団地である。立地条件もよく、新たな工業用水の需要が見込まれていることから、当該地域の需要に対応すべく新たな水源の確保が求められている。</p>										
3. 効果とコストとの関係に関する分析										
<table><tr><td>A. 総便益</td><td>;</td><td>794.40 億円</td></tr><tr><td>B. 総費用</td><td>;</td><td>398.30 億円</td></tr><tr><td>費用便益比</td><td>;</td><td>1.99 (A / B)</td></tr></table>		A. 総便益	;	794.40 億円	B. 総費用	;	398.30 億円	費用便益比	;	1.99 (A / B)
A. 総便益	;	794.40 億円								
B. 総費用	;	398.30 億円								
費用便益比	;	1.99 (A / B)								
4. 評価結果										
<p>工業用水道事業に係る政策評価実施要領に照らし合わせた結果、前提指標である費用便益比 1.0 以上等を満たしており、優先採択指標である事業着手の緊急性を要していることから、本事業は補助対象として妥当である。</p>										